

平成22年度 事業報告書

自 平成22年 1 月 1 日

至 平成22年12月31日

財団法人 河北文化事業団

1. 事業の報告

(1) 主催事業

(イ) 第59回（平成21年度）河北文化賞の贈呈

東北の学術、芸術、体育、産業、社会活動の各分野で顕著な業績を上げた個人、団体に贈る第59回河北文化賞は、東北6県から推挙を受けた計34件の中から4件の授賞を決定した。贈呈式は平成22年1月16日、仙台市の仙台国際ホテル「平成の間」で、東北各県各界の代表約350人の列席を得て行った。

受賞者と業績は次の通り。

「液晶の基礎研究および高性能液晶ディスプレイの開発」

東北大学大学院工学研究科教授 内田 龍男

「日本刀の制作を通じた日本人の心と文化の伝承」

刀工 上林 恒平

「もち性ヒエの開発とその利用による地域振興」

岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

教授 星野 次汪

『最上川やまがた雛の道』を提唱し、

春の観光を大きく発展させた功績」

おひな様研究家 安部 英子

贈呈式では、一力雅彦常務理事が受賞者の業績を紹介し、「今後も東北の文化向上、発展のために努力され、河北文化賞の意義をより深いものにしていきたい」とあいさつ。鈴木紳一事務局長が審査経過を報告し、一力常務理事から受賞者に本賞（賞牌）と副賞100万円ずつが贈られた。この後、東京農業大学 名誉教授 農学博士 小泉武夫氏が「発酵王国・東北の食文化」と題して記念講演を行った。引き続き茶話会に移り、各推挙者から受賞者それぞれの人柄や業績の紹介があり、盛会のうちに幕を閉じた。

(ロ) 第74回河北美術展の開催

河北新報社との共催で第74回河北美術展を4月23日から5月5日まで、仙台市の藤崎本館7階催事場と8階グリーンルームで開催した。

わが国最大の地方公募展として歴史、規模を誇る同展は、東北における美術文化の向上に大きな役割を果たしており、中央画壇にも数多くの人材を輩出している。74回展には日本画、洋画、彫刻の3部門に、東北6県はもとより全国各地から1110点（前回1165点）の作品が寄せられた。

展覧会には、厳しい審査で選ばれた入賞31点と入選353点、さらに審査員、顧問、招待作家の作品62点の計446点が展示され、連日多くの美術ファンでにぎわった。

最高賞の河北賞は、日本画＝阿部君江（石巻市）、洋画＝荒木悟（仙台市）、彫刻＝樽井美波（つくば市）の各氏。文部科学大臣賞は、洋画＝佐々木有菜氏（名取市）が受賞した。

審査は、日本画＝福王寺一彦（日本美術院展）、室井東志生（日展）、洋画＝中山忠彦（日展）、藪野健（二紀会）、佐野ぬい（新制作協会）、彫刻＝能島征二（日展）の各氏が行った。

本展終了後、栗原市、大崎市、宮城県利府町で巡回展を開催、好評を博した。

(イ) 若鷲旗争奪第39回東北中学校野球大会兼第32回全国中学校軟式野球大会東北予選会の開催

東北中学校体育連盟、東北軟式野球連盟、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、名取市教育委員会との共催で、第39回東北中学校野球大会を第32回全国中学校軟式野球大会の東北予選会を兼ねて8月6日から8日までの3日間、クリネックススタジアム宮城（仙台市）と愛島球場（名取市）を会場に開催した。

東北各県から三本木、平賀東（青森）、花泉、北上南（岩手）、秀光中教校、郡山（宮城）、東雲、成章（秋田）、鶴岡三、山形五（山形）、行健、郡山一（福島）の計12チームが出場、熱戦を繰り広げた。

決勝は秀光中教校と三本木の対戦となり、秀光中教校が8－1で初優勝を飾り、若鷺旗を手にした。両チームと第3代表決定戦に勝利した郡山は東北代表として岡山県倉敷市などで開かれた全国大会に出場し、郡山は初戦で、秀光中教校は3回戦で敗退、三本木は第3位となった。

(二) 第57回河北書道展の開催

東北書道界の最高峰を誇る第57回河北書道展を河北新報社との共催で、8月12日から17日までの6日間、藤崎本館7階催事場、8階グリーンルームで開催した。

今回は東北各県から会友、一般合わせて1027点（前回1038点）の応募があった。部門別の応募状況は、第1部（漢字）228点、第2部（かな）91点、第3部（墨象）141点、第4部（近代詩文）235点、第5部（少字）73点、第6部（篆刻・刻字）91点、第7部（漢字一行書）168点。

菊田翠谷審査委員長以下38人の審査員が厳正かつ慎重な審査を行った結果、入賞18点、特選92点、準特選55点、入選643点が決まった。

河北賞は、第1部＝遠藤溪雲（仙台市）、第2部＝沼澤祥泉（長井市）、第3部＝佐々木青霞（宮城・美里町）、第4部＝岩崎陽光（塩釜市）、第5部＝尾形澄神（仙台市）、第6部＝高橋芳琴（大崎市）、第7部＝板橋雅邦（名取市）の各氏が受賞した。

展覧会には、入賞、入選作品と顧問、参与、審査員、招待、委嘱作家の作品を合わせた969点を展示、訪れる書道ファンを楽しませた。本展終了後、大崎市で巡回展を開催し、好評を得た。

(ホ) 第54回全東北ピアノコンクールの開催

東北放送、東北放送文化事業団との共催による第54回全東北ピアノコンクールの本選会を6月6日、仙台市の若林区文化センターで開催した。

今回は東北6県にゆかりのある53人が参加し、うち予選を通過し8人が本選に出場。審査の結果、宮城県宮城第一高等学校2年梅川侑里恵さん（仙台市青葉区）が第1位に輝き、文部科学大臣賞を受賞した。

このコンクールは、東北の音楽文化の振興をはかるとともに、若手演

奏家を育てようと昭和32年にスタートした。以来、54回を数え、この間、多くの優れたピアニストを中央楽壇に送り出すなど、大きな成果を上げている。

(ハ) 第19回河北工芸展の開催

河北新報社、宮城県文化振興財団との共催で、第19回河北工芸展を10月22日から27日までの6日間、仙台市のせんだいメディアテーク5階ギャラリーa・bで開催した。

同展は東北の工芸美術の振興と発展を目的に、平成4年に創設。東北地方をはじめ全国各地から351点（前回357点）の応募があった。

酒井田柿右衛門（日本工芸会）、春日井路子（現代工芸美術家協会）、古見準士（日本新工芸家連盟）の3氏が審査に当たり、入賞16点、入選172点を選んだ。

最高賞の河北賞は陶磁の奥田冬門氏（茨城・小美玉市）が受賞した。

展覧会場には、入賞、入選作に審査員、顧問、招待作家の作品24点を加えた212点が展示され、連日多くの工芸ファンが詰め掛けた。

(2) 協力事業

宮城県芸術協会、河北新報社などが主催する第47回宮城県芸術祭に協力し、優秀な成績を収めた12人に本団から奨励賞を交付した。

受賞者は、絵画部＝尾形たき子、長谷隆、守田美代子、写真部＝阿部信義、伊深寿人、書道部＝池田小沙、大友きか子、大沼翠暉、高野博行、横山桂子、工芸部＝川北京子、文芸部＝山本一史の各氏。

2. 処 務 の 概 要

(1) 役員に関する事項

(平成22年12月31日現在)

役 職	氏 名	手当	現 職	就任年月日
理 事 長	一 力 雅 彦	なし	河北新報社代表取締役社長	平 22 ・ 4 ・ 1
常務理事	金 成 有 造	〃	河北新報社取締役	平 22 ・ 4 ・ 1
理 事	奥 山 恵美子	〃	仙台市長	平 21 ・ 8 ・ 22
〃	永 野 為 光	〃	東北放送代表取締役会長	平 17 ・ 4 ・ 1
〃	久 道 茂	〃	東北大学名誉教授	平 16 ・ 4 ・ 1
〃	加 藤 正 人	〃	前宮城県社会福祉協議会会長	平 20 ・ 4 ・ 1
〃	小 山 喜三郎	〃	宮城県芸術協会理事長	平 20 ・ 4 ・ 1
監 事	佐 藤 久 内	〃	仙台銀行相談役	平 11 ・ 12 ・ 14
〃	岡 崎 智 政	〃	三陸河北新報社代表取締役社長	平 19 ・ 6 ・ 27
評 議 員	村 井 嘉 浩	〃	宮城県知事	平 17 ・ 11 ・ 21
〃	佐 藤 雄 平	〃	福島県知事	平 18 ・ 11 ・ 13
〃	達 増 拓 也	〃	岩手県知事	平 19 ・ 4 ・ 30
〃	三 村 申 吾	〃	青森県知事	平 15 ・ 7 ・ 1
〃	佐 竹 敬 久	〃	秋田県知事	平 21 ・ 4 ・ 20
〃	吉 村 美栄子	〃	山形県知事	平 21 ・ 2 ・ 14
〃	井 上 明 久	〃	東北大学総長	平 18 ・ 11 ・ 6
〃	星 宮 望	〃	東北学院学院長	平 19 ・ 4 ・ 1
〃	吉 崎 泰 博	〃	宮城学院女子大学学長	平 17 ・ 4 ・ 1
〃	幕 田 圭 一	〃	東北経済連合会名誉会長	平 17 ・ 5 ・ 18
〃	小 林 伸 一	〃	宮城県教育委員会教育長	平 20 ・ 4 ・ 1
〃	佐 藤 敏 国	〃	仙台市博物館館長	平 21 ・ 4 ・ 1
〃	渡 辺 雄 彦	〃	宮城県芸術協会顧問	平 10 ・ 5 ・ 21
〃	出 村 和 子	〃	仙台いのちの電話理事長	平 20 ・ 4 ・ 1
〃	火 煙 雅 之	〃	東北放送事業局長	平 21 ・ 4 ・ 1
〃	穴 戸 實	〃	河北新報社専務取締役	平 17 ・ 4 ・ 1
〃	大 島 孝 夫	〃	河北新報社常務取締役	平 20 ・ 4 ・ 1
〃	西 川 善 久	〃	河北新報社常務取締役	平 20 ・ 4 ・ 1
〃	田 中 昭	〃	河北仙販代表取締役社長	平 20 ・ 4 ・ 1
〃	木 村 定	〃	河北新報社取締役	平 22 ・ 4 ・ 1

(2) 職員に関する事項

職 務	氏 名	就任年月日	担当	手当	
事務局長	鈴 木 紳 一	平 21 ・ 4 ・ 1	統括	なし	河北新報社営業本部事業部長
職 員	三 浦 尚 登	平 20 ・ 4 ・ 1	総務	〃	河北新報社営業本部事業部副部長
〃	藤 原 陽	平 22 ・ 4 ・ 1	〃	〃	河北新報社営業本部事業部副部長
〃	菊 池 かおる	平 16 ・ 4 ・ 1	〃	〃	河北新報社営業本部事業部主任
〃	丹 野 学	平 22 ・ 4 ・ 1	〃	〃	河北新報社営業本部事業部主任

(3) 役員会に関する事項

(イ) 理事会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2 月 15 日	議題 1. 平成21年度事業報告書案承認の件	原案通り承認可決
	議題 2. 平成21年度収支計算書案承認の件	〃
	議題 3. その他	
4 月 1 日	議題 1. 理事の中から理事長 1 名を互選する件	原案通り承認可決
	議題 2. 理事の中から常務理事 1 名を互選する件	〃
	議題 3. 任期満了に伴う評議員選任の件	〃
12 月 20 日	議題 1. 平成23年度事業計画書案承認の件	原案通り承認可決
	議題 2. 平成23年度収支予算書案承認の件	〃
	議題 3. 第60回河北文化賞贈呈の件	〃
	議題 4. その他	

(ロ) 評議員会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2 月 15 日	議題 1. 平成21年度事業報告書案承認の件	原案通り承認可決
	議題 2. 平成21年度収支計算書案承認の件	〃
	議題 3. その他	

3月12日	議題	1. 任期満了に伴う理事選任の件	原案通り承認可決
	議題	2. 任期満了に伴う監事選任の件	〃
12月20日	議題	1. 平成23年度事業計画書案承認の件	原案通り承認可決
	議題	2. 平成23年度収支予算書案承認の件	〃
	議題	3. 第60回河北文化賞贈呈の件	〃
	議題	4. その他	

(4) 許可、認可および承認に関する事項	該当なし
(5) 契約に関する事項	該当なし
(6) 寄附に関する事項	該当なし
(7) 主務官庁指示に関する事項	該当なし